

ひびき

hibiki

取手市議会だより第199号
2012(平成24)年11月1日発行

<紙面から>

取手市議会は、去る9月5日から26日まで、平成24年第3回定例会を開催しました。

9月定例会は「決算議会」と呼ばれるように、市長から平成23年度一般会計と特別会計の決算が提出され、議会は一般会計決算に対して決算審査特別委員会を設置して審議を行いました。

また、「ウェルネス・タウン取手の創造」を掲げて行われている取手駅北地区の開発事業について、事業の円滑な進捗を図るため、「取手駅北土地利用構想に関する調査研究特別委員会」が議会に設置されました。

発行責任者／取手市議会議長 倉持光男
発行／取手市議会 編集／取手市議会事務局
〒302-8585 茨城県取手市寺田5139
電話番号 0297-74-2141(内線1801・1802)
ファクス 0297-74-1990
ホームページアドレス http://www.city.toride.ibaraki.jp/
e-mailアドレス gikai@city.toride.ibaraki.jp

西口都市整備事業特別会計補正予算の内容

| | |
|----------|---|
| 補正額 | 5億6,835万4千円 |
| 歳出の内容 | 歩行者デッキ整備9,087万円、自転車駐車場整備4億7,748万4千円 |
| 歳入の内容 | 国庫支出金1億8,320万円、合併特例債3億6,300万円、一般会計繰入金1,398万1千円、繰越金817万3千円 |
| 歩行者デッキ概要 | 既存デッキのエスカレーター付近から延伸。事業提案公募により建設予定の医療モール(仮称・取手メディカルセンター)内の通路と接続し、都市計画道路3・4・8号線まで通行可能。雨・日よけのシェルターを敷設。 |
| 自転車駐車場概要 | 3層構造で、機械式(450台分)と自走式(410台分)の両方式で駐輪可能な、医療モールとボックスヒルの間に建設される立体駐輪場。 |



歩行者デッキ完成後イメージ

西口整備補正予算可決!!

取手駅西口の整備始まる

〔討論〕

佐藤(隆)議員：機械式は多くの自転車を駐車でき、自走式は将来用途転用が可能。自転車駐輪場は両方式のメリットを取り入れた整備効果の高いもの。デッキはメディカルセンター内通路と接続するが、基本協定が締結され管理の懸念も払拭された。賛成。

加増議員：駐輪場利用者は年々減少する。メンテナンス経費も含め、どこまで経費が膨らむのか。デッキについても新たな土地購入が計上され、行き当たりばったり。医療モール事業者への便宜供与そのもの。反対。

入江議員：事業費の増は、デッキに、シェルターや駐車場との接続ブリッジ設置など、ニーズに応えるため。国庫補助金等を活用し負担軽減に努めている。駅前活性化の第一歩。賛成。

池田議員：エスカレーター付近には買い物客の違法駐車を常態にあり、駐輪場を整備しても減少するとは考えられない。デッキ下の安全面を考え、また、機械式駐輪場の必要性がわからないので反対。

平議員：すべての人間が享受できる施設は、どんどん

つくっていくべき。平等性の向上が、取手市の経済の向上につながる。賛成。

市村議員：公募した土地への進入路について、公募提案者が別の用途で考えていた土地を通路にせざるを得ないという変更があったが、もっと早く市は判断できたのでは。開発が遅れることに懸念もあるが、立ち止まり話すことが本当の近道。反対。

染谷議員：デッキ整備で治助坂を上り下りする必要がなくなる。自転車駐輪場整備で、24時間使用可能な駐輪場ができ便利。市長は市をさらに発展させる決意で、多くの方々から共感を得る努力を。市の発展と市民の利便性に寄与する。賛成。

飯島議員：デッキの橋脚がバス停のど真ん中に来て、狭い駅前を圧迫する。デッキ途中につくられる階段にはエスカレーター等は敷設されず問題。3・4・8号線につながる部分はどのような完成するのか見えない。拙速な事業。反対。

川又議員：白山に住む方のほぼ100%が、取手駅に行く場合は治助坂を利用する。私の周りはデッキができることはありがたいと

言っている。今回の提案は住民の考えに合う。賛成。

佐藤(清)議員：市の土地が、了解のないままに、事業者から、(医療モールと駐輪場への進入路として)明記された書類が出され市が受理している。結果的には、事業者が買った土地を(医療モールの)出入り口にしたので、今その話はないわけであるけれども、疑問が払拭できない。反対。

吉田議員：今まさに計画から実行へと移るべきとき。私たち議会の願いは、取手市の活性化ではないか。JRと協議中の東西自由通路もデッキがあつて生きてくる。取手の未来のために前に進もう。賛成。

関戸議員：この歩行者デッキも駐輪場も、駅前開発全体との絡みで出されている計画。全体の計画が反対ならば止めるべき。出されている疑問について解消しなければ禍根を残す。反対。

小嶋議員：医療モール事業地の周りに、事業者が土地を取得していたことなどについて、「疑惑」と言われていたが、時系列で調べた結果、疑惑はないと判断した。速やかに着手すべき。賛成。

特別委員会設置

「取手駅北土地利用構想に関する調査研究特別委員会」

●取手駅北土地利用構想に関する調査研究特別委員会の設置について：可決
〔特別委員会の目的〕

ウェルネス・タウン構想事業の円滑な進捗を図るための調査・研究

〔提出者〕

中村議員ほか4人

〔討論〕

加増議員：ウェルネスプラザを中核とする全体構想は都市整備部ばかりでなく、他の所管に係ることを考慮すれば、駅周辺事業は特別委員会を設置し審議することがふさわしい。賛成。

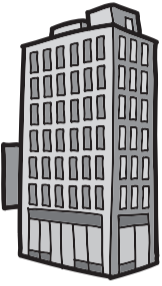
〔特別委員会の構成〕

委員長 金澤克仁

副委員長 染谷和博

委員 市村達明・落合信太郎・鈴木 潔・川又 貞男・山野井 隆・小嶋吉 浩・中村 修・加増充子

※建設経済常任委員会に付託された財政（資金）計画が大幅に変更（拡大）された「ウェルネス・タウン取手の創造」に関する請願書と「（仮称）ウェルネスプラザ整備計画（案）」関係予算の執行停止を求める請願書は付託先が特別委員会に変更され、継続審査となりました。



23年度

決算

認定

23年度の一般会計決算を、決算審査特別委員会を設置して審査を行いました。

〔決算審査特別委員会の構成〕

委員長 染谷和博

副委員長 川又貞男

委員 関戸 勇・渡部日出雄・石井めぐみ・飯島悠介・山野井 隆・吉田 宏・阿部洋子・結城 繁・赤羽直一・遠山智恵子

●一般会計決算認定：認定

〔討論〕

結城議員：23年度は公共施設マネジメント白書を作成しているが活用されていない。ウェルネスプラザは既存のインフラとの関係を考慮する必要が考えられている。反対。

| 会計名 | 歳入総額 | 歳出総額 |
|---------------|--------------|--------------|
| 一般 | 355億 8,940万円 | 345億 4,342万円 |
| 取手駅西口都市整備事業特別 | 6億 7,898万円 | 6億 3,644万円 |
| 用地先行取得事業特別 | 1億 8,263万円 | 1億 8,263万円 |
| 国民健康保険事業特別 | 120億 5,873万円 | 117億 2,806万円 |
| 後期高齢者医療特別 | 16億 6,452万円 | 16億 5,421万円 |
| 介護保険特別 | 54億 827万円 | 53億 2,650万円 |
| 介護サービス特別 | 1,493万円 | 1,284万円 |
| 競輪事業特別 | 7,832万円 | 4,182万円 |
| 公平委員会特別 | 77万円 | 51万円 |

佐藤（隆）議員：国の財政対策による財源で災害復旧工事を実施し、市民の安心安全を確保した。学校の耐震化は、永山小改築、東中増築などを順次整備。賛成。

池田議員：取手は放射線量が高いホットスポットとなった。「取手に住んでいて安心でしょうか。」こうした声に応えてきたのか。子どもの健康診断を求める声にも応えない。反対。

池田議員：市民が望んだのは震災復旧と放射線対策。安心が確保されず生産年齢層、子どもの人口は激減。早く対策を実施すべきだった。反対。

石井議員：子どもたちが利用する施設の放射線除染は優先して行われた。おたふく風邪と水ぼうそうの予防接種費用の助成が開始されたことを歓迎。賛成。

山野井議員：持続可能な行政運営が図られた。冠水個所の排水ポンプ設置、災害FM着手、産業活動支援条例の策定等、評価すべき点が多い。賛成。

齋藤議員：アクションプランを実施しつつ、永山小改築、お休み処の増設、がん検診充実などニーズに沿った事業展開をした。賛成。

●取手駅西口都市整備事業特別会計決算認定：認定

〔討論〕

結城議員：東西自由通路はJRとの交渉が難航しているとのことで、予算が繰り越されている。これを即、進めることを希望して反対。

池田議員：取手駅北土地利用構想を策定し、市民に向けた周知が図られたと書いてあるが、パブリックコメントを読むに当たり、コメントを讀むに当たっては思えない。反対。

加増議員：ウェルネス・タウン構想は、最上位計画である第五次総合計画になかった計画。議会にも諮らざ変更してしまった。法を順守する立場の市長が取るべき態度か。反対。

飯島議員：ウェルネス・タウン構想事業の拙速な推進により市民との信頼関係が失われた。パブリックコメントは、23年度中に行うべきであった市内の調整すらできない執行部に対しての反対意見だった。反対。

●用地先行取得事業特別会計決算認定：認定

〔討論〕

加増議員：B街区の土地は文化芸術施設整備用地として購入した。その用地をウェルネスプラザ建設用地に活用することは、土地取得の目的に反する。反対。

●国民健康保険事業特別会計決算認定：認定

〔討論〕

遠山議員：2年連続の黒字決算となった。黒字なら保険料を引き下げる、あるいはせめて減免制度の創設に踏み切るべき。安心して医療機関にかかれる制度に改善を図るべき。反対。

●後期高齢者医療特別会計決算認定：認定

〔討論〕

遠山議員：75歳で線引きし、高齢者を差別する高齢者いじめの医療制度。撤回を求める。反対。

●介護保険特別会計決算認定：認定

〔討論〕

遠山議員：改正のたびに負担ばかり増えてきた。介護従事者の働く条件を改善することも喫緊の課題。高齢者、要介護者、介護従事者を守る立場に立って介護政策の充実を図るべき。反対。

●競輪事業特別会計決算認定：認定

〔討論〕

加増議員：市民から競輪場の施設転用を求める意見が出ている。敷地をニーズに合った施設へ転用すれば、魅力あるまちづくりに貢献する。赤字になる前に事業の廃止を求めるべき。反対。

その他の 市長提出議案

私立井野保育園改築、認定こども園に移行する3幼稚園増築の補助金交付／ポリオ予防接種の不活化ワクチンへの切り替え／食品放射性物質測定機購入等決定

●一般会計補正予算(第6号)：可決
・補正予算額 7億1596万9000円



4月に民営化された井野保育園

池田議員：不活化ワクチンの導入は多くの保護者が望んでいた。測定機2台の購入できめ細かい給食検査も進められる。ビッグバンドジャズフェスタも大切な

ちづくり。賛成。
鈴木議員：放射能対策、震災復旧費は当然。民間保育園の補助は幼保一元化による公的保育の低下につながることを前提に賛成。予防接種経費も国の制度に基づくもので当然。賛成。

●介護保険条例の一部改正：可決

東日本大震災被災者に対する保険料の減免措置の申請期限を延長するもの。

池田議員：震災から復旧するには減免措置もまだ必要。継続すべき施策と考える。賛成。



9月に行われた取手JAZZ DAYZ2012の様子

●国民健康保険税条例の一部改正：否決

払い切れる国保税にするために税の減免対象者に「当該年の所得が皆無となった者」等を加える改正。

〔提出者〕
加増議員ほか2人

〔討論〕

関戸議員：減免条例の制定は、県内18市町村に広がった。条例改正で市民に少しでも生きる勇気と希望を与えることは、困難を切り開き再生する力になる。賛成。

●政治倫理条例の一部改正：否決

政治倫理基準に規定されている有利な取り計らいをしてはならない者の中に、市の施設の指定管理者や市の施設を譲渡、貸与され当該施設を運営する者を加えるなどの改正。

〔提出者〕

遠山議員ほか2人

〔討論〕

関戸議員：市民の負託を受けた議員が疑惑を招くことを許さず、我が身を厳しく律しようという趣旨。賛成。
池田議員：中身を細かく規定することは、条例本来の目的から遠ざかってしまう面がある。この条例が機能しているか検証し、見直しに関して丁寧に議論を重ねる必要がある。反対。

議員 提出議案

意見書

●冷静な外交努力で尖閣諸島・竹島問題の解決をはかることを求める意見書：可決

〔提出者〕

関戸議員ほか1人

〔討論〕

加増議員：日本共産党は外交交渉によって日本の尖閣諸島領有の正当性を主張して解決を図るべきと提起している。竹島については、日韓双方が歴史的事実に基づいて冷静な外交交渉で解決することである。賛成。
小嶋議員：実行支配とは行政権と司法権を行使していることだが、日本の領海を侵犯、公務執行妨害をした者を無罪放免、こんなことでは司法権を執行しているとは言えない。冷静な外交努力とともに本当の実効支配をしなければ。賛成。

池田議員：挑戦的な態度に挑戦的な態度で反応しても解決には至らない。厳正な外交努力の積み重ねには勇氣と知性と行動力と先を読む力が必要。今こそそれが求められている。賛成。

平議員：サイバー部隊をつくる予算が(国会に)提出されたが、北朝鮮、韓国、台湾、ロシア、そして中国は上の段階を行っている。冷静な外交努力で平和的解決を求める。賛成。

●消費税増税の実施中止を求める意見書：可決

〔提出者〕

鈴木議員ほか1人

〔討論〕

落合議員：現在の社会保障を維持するだけで毎年1兆円以上の支出増。税制の抜本改革が必要。反対。

加増議員：増税を強行すれば、消費は落ち込み、被災地を初め全国の地域経済は大打撃を受ける。賛成。

池田議員：社会保障は置き去りにされた今回の増税法案は疑問。消費税は逆進性という問題があり、地方経済にとってマイナス。賛成。

●中小企業の成長支援策の拡充を求める意見書：可決

〔提出者〕

染谷議員ほか3人

〔討論〕

加増議員：中小企業を支援し、地場産業育成や地元商工支援等で雇用の増加を図ることが緊急課題。賛成。

●県立高校の存続と高校の30人以下学級実現を求める意見書(請願採択を受けての提出)：可決

〔提出者〕

吉田議員ほか5人

〔討論〕

平議員：教育者が教育屋となり金もうけに走ってはならない。組織の在り方が反省されるべき。反対。

●国民の理解を得られるような電源開発促進税の見直しを求める意見書：可決

〔提出者〕

結城議員ほか3人

〔討論〕

池田議員：電源開発促進税は電気を使っていないすべての家庭、企業から徴収されているにもかかわらず、使っていない道は原価推進に向けられている。見直しを早急に行うべき。賛成。

皆さんの希望です 請願・陳情

請願は、皆さんが国や県、市区町村に対し、一定の希望を述べるものです。憲法には、国民の基本的権利として請願権（第16条）が保障されています。陳情は、法で定められた権利ではありませんが、取手市議会では、請願と同様に審議しています。

請願

●「県立高校の存続と高校の30人以下学級実現を求める意見書提出」に関する請願書：採択

〔紹介議員〕

鈴木議員

〔討論〕

鈴木議員：昭和、平成の市町村合併の一環として学校統廃合は進められ、それは教育費削減政策の一環でもあった。少人数学級化は一步一歩前進しているが余りにも遅い。賛成。

●教育予算の拡充を求める請願：採択

①少人数学級の推進②義務教育費国庫負担制度の堅持③教育復興の予算措置の継続の実施について意見書提出を求めるもの。

〔紹介議員〕

金澤議員

〔討論〕

平議員：教育予算は、むしろその中身が問題であり、90%以上が教員の給料になっ



●市立小中学校に学校図書館司書を配置することを要望する請願：採択

〔紹介議員〕

池田議員ほか3人

〔討論〕

落合議員：公明党主導により子ども読書活動支援法が制定された。取手市においても公明党の主張によりブックスタート事業が行われている。児童の読書環境を向上するものであり賛成。

池田議員：請願者は以前、龍ヶ崎の中学校で学校図書館司書をしており、様々な取り組みができたのは、学校図書館司書が専任で、先生方と連携できたからだとして述べていた。賛成。

鈴木議員：子どもたちの意欲を増すためには司書教諭は欠かせない。司書として意欲的に取り組める配慮を、物心両面から支えるのが教育委員会の仕事。賛成。

陳情

●障害者の為のケアホーム設置に関する陳情：採択

市立障害者福祉センターつつじ園（戸頭）と一体となったケアホームの設置と運営を求めるもの。

〔討論〕

池田議員：障害者のご家族の不安に寄り添い、障害者ご本人が置かれた現状に向き合い、市は話し合いを丁寧を重ねてほしい。大勢の市民と力を合わせ、実施できる施策を探り、具体化を目指してほしい。賛成。

鈴木議員：陳情者の我が子に寄せる熱い思い、実現してほしいという切ない気持ちを痛いほど感じた。市は全力を尽くすべき。賛成。

齋藤議員：陳情された皆さんは、自分がいなくなった後の我が子のことを考え、眠れぬ夜を過ごされていると思う。その気持ちに寄り添い、問題の解決方法を探りたい。賛成。

●自転車通学損害賠償保険に関する陳情：採択

自転車通学するすべての中学生を自転車の人身・対物保険に加入させ、加入の管理監督を校長等に託すことなどを求めるもの。

〔討論〕

池田議員：子どもを加害者にも被害者にもさせないために、ルールについての一層の教育と併せて、生徒の自転車使用申請時の保険加入の確認も必要。賛成。

市村議員：自転車事故の保険を全員に義務という点において、家庭の負担になっ

てしまう可能性がある。行政が考えるべきは通学路の安全対策ではないか。反対。

関戸議員：学校では校長の判断により自転車での登校を認めている。認めているから、登校中の対人・対物補償は明確になっていない。保護者への負担もそれほど大きくないと考える。賛成。

川又議員：学校で自転車を許可しているという事は、校長にも責任がある。千葉県のある学校においては、学校が許可している限り学校が金を払って入っていること。賛成。

小嶋議員：どんなに安全策をしてもリスクはゼロにならない。茨城県PTA連絡協議会の小中学生24時間補償制度も加入率が低い。対策が必要。賛成。

●市民の放射能被ばくに対する措置を求める陳情書：採択

池田議員：汚染状態の継続的調査等を放射能対策や健康管理に役立てていくことが必要。継続的健康調査は、若い世代の甲状腺調査への補助という形からでも早急

に実施していくべき。賛成。

川又議員：牛久市などでも被ばく検査をするとのこと。取手も進んでやってほしい。賛成。

遠山議員：県内で放射線量の最も高い地域になっている以上、市民の不安を取り除くために被ばく調査と集団健康診断の継続的実施を求めるのは当然。賛成。

●住民投票条例制定についての陳情：不採択

議員による条例制定の取り組みを求めるもの。

〔討論〕

池田議員：住民投票は、市民の声を生かしたよりよい政策決定に必要な不可欠と考

える。賛成。

関戸議員：市長、市議の選挙で選ばれるという考えもあるが、選挙は総合的な争点で争われることが多い。それでは本当の住民自治は育たない。賛成。

平議員：金のかからない方法を

●外来水生生物に関する陳情：趣旨採択（※）

市内すべての河川・沼・ため池等で特定外来生物の調査と駆除を求めるもの。

〔討論〕

関戸議員：駆除は簡単ではないが放置できない。川に親しむ環境をどのようにつくり上げるか、これも重要な課題。採択を求める。趣旨採択に反対。



印旛沼（利根川水系）のカミツキガメ

●農産物・特産品直売所の場所選定についての陳情：趣旨採択（※）

場所選定に藤代庁舎を検討することを求めるもの。

〔討論〕

関戸議員：以前から取手でも道の駅設置が求められている。この状況を発展させるための陳情と理解した。

地産地消、農家支援のために積極的に陳情に賛成する立場から趣旨採択に反対。

※趣旨採択：願意は妥当としながらも実現性等に確信が持てないような場合に行う、「趣旨には賛成」という請願・陳情への態度表明。

一般質問

議員は、市長などに対して、市の事務の状況や将来の方針などを質問することができます。

この質問を「市政に関する一般質問」といいます。今定例会では、22人の議員が一般質問をしました。その状況について、ご紹介いたします。

子どもたちの心の健康のために

阿部 洋子 議員

問 思春期に子どもたちの心は不安定になり、うつ等の症状が見られる場合もある。いはらき思春期保健協会のアドバイザー派遣事業など外部機関を活用して子どもたちの状態を把握しては。教育長 効果的にできれば活用したい。

問 向き合う誰かが必要なこの時期に、ふれあい囲碁は心を育てる最高のツール。ぜひ活用してほしいが。答 研修等での紹介等により広めていければと思う。

問 児童が赤ちゃんと触れ合い、命の尊さを実感する赤ちゃん登校日。この体験学習が心の健康に必要では。答 自分を大切に育てる気持ちや家族への気持ちを持てるようになるよい機会。活動が広められるように考えたい。

問 ふれあいボランティアパスポートは、生徒が自身のボランティア活動記録等の記入とともに、応援したい公益法人を選ぶと企業からの寄付金が法人に届く。社会に役立っている実感が心の健康につながるのでは。答 ボランティア活動を進めるきっかけづくりに適している。低学年から始めるにはとてもいいと考える。

人間の命の価値

平 由子 議員

問 集団の弱い者いじめは許せない。強くなければ生きていけないが優しくなれないなら生きる価値はない。生きる価値を認めることもできない。まして原子力を推進する政治家や役人、電力会社と巨大企業群の犯罪は許し難い。原発は弱者の生活、人生を踏みにじる。霞ヶ浦にたまり始めたセシウムは湖心で急上昇中。環境省によれば今年5カ月の間4倍近く上昇。ホットスポットからも、持続する低線量からも住民を遠ざけなければならぬ。ドイツ公開放送も番組「福島」で危険性を指摘。無責任な国ではなく、自治体が住民を守るべき。汚染状況を記録、公開すべき。

市長 放射能汚染の影響について、飲料水は茨城県南水道企業が毎週木曜日に戸頭、藤代配水場で測定し、結果は基準値以下。井戸水もこれまで不検出。利根川の底質の放射性物質は、生活圏の空間線量への寄与については限定的、水に濃い濃度で溶出することは考えづらいと言われている。今後とも水質の確保ができるよう努力する。

災害時に備えた備蓄の状況は？

染谷 和博 議員

問 予想される首都圏直下型地震等に万全の備えをしなければならぬが、震災の際、女性用・子ども用の災害備蓄の少なさが問題となった。市の対応を伺う。総務部長 女性用・子ども用の日用品が多種多様なため、用意したものが合わないことがあった。基本的には、備蓄は一定の量とし、それ以外は、防災協定を結んでいる3社のスーパーマーケットから供給をお願いする考えでいる。

問 備蓄の進捗状況は。安全安心対策課長 アレルギー食は、大人用・子ども用を各20食。女性用・子ども用の日用品は30ぐらいの購入を計画している。

問 草加市は、地震などに備え流動食や薬などを保管する在宅重度障害児向けロッカーを設置、提供している。市は、ウェルネス・タウンの創造を目標とする新たなまちづくりに着手した。ウェルネスプラザにロッカーがあればと思うが。健康福祉部長 障害のない

方でも流動食が必要な人、薬を常用する人などいろいろいる。現在、そこまでは考えていない。



災害備品（藤代庁舎）

いじめに苦しむ生徒に解決の光を！

落合 信太郎 議員

問 滋賀県大津市で起きた中学生の事件を繰り返してはならない。今もいじめで苦しんでいる生徒に一日でも早く救いの手が届けばと思う。市のいじめの現状は。教育長 小学校5件、中学

校7件を対応中。内容は、小学校は言葉遣いの部分がほとんど。中学校になると、関係機関と連携しなければならぬ難しい問題がある。**問** いじめはどの学校にもある認識に立てば、件数は重要でない。どうすれば声なきSOSに気付けるのか。答 教師の日常観察が一番大事。子どもたちの様子をしっかり見つけて、いじめを発見できるような体制を作りたい。**問** 各学校でいじめアンケートを行っているか。どのように行っているのか。生徒への配慮は十分か。答 学校生活アンケートという形でとっている。文章を長く書かせると勘繰られてしまうので、答えに丸をつける形にするなど負担にならないように研究している。また、回収箱で回収するなど、心配なく生徒が先生に思いを伝えられるよう工夫をしたい。

ちょっと見てって



取手市議会では、本会議の生中継を行っております。インターネットに接続できるパソコンをお持ちの方は、取手市役所ホームページからごらんいただけます。また、本会議の録画配信も行っております。さらに、過去の本会議会議録や委員会記録を検索・閲覧できる「会議録検索システム」もありますので、ご利用ください。

ウエルネス・タウン 創造計画

佐藤 隆治 議員



新町第8ビル駐車場

問 今回のウエルネスプラザ計画案のパブリックコメントの目的について。

答 再開発部のB街区の整備方針に基づき、具体的な整備計画案を市民に示し、その意見を建築設計の中にできる限り反映したいという思いで実施した。

問 これだけ多くの意見に対しての考え方を伺う。

答 再開発ビルの再オープンの意見、中ホール等の意見は、ウエルネスプラザ整備と併せながら別のテーブルの中で検討していく。ウエルネスプラザの検討内容は、市民の皆さんに公表して進めていきたい。

問 ウエルネスプラザの来場者数は計画では約30万

人。駐車場22台では十分と
いえないのでは。

答 敷地内に駐車場を造るとなると多大な費用がかかってくる。ボックスビル140台、新町第8ビル800台の路外駐車場を活用していきたい。

問 駐車場経営の方には話を進めているのか。

答 特段断る理由はないと話はいただいている。

問 プラザと駐車場の間の活性化対策について。

答 区画整理の土地に商業施設等々の集積ができるよう支援していきたい。

空き家条例の 制定を！

齋藤 久代 議員

問 空き家については、市民からの相談が大変多く、これまでも公明党市議団が真剣に取り上げてきた全国の地方自治体共通の問題。家屋は倒壊や火災の恐れ、不審者の出入り、樹木であれば枝の張り出し、そして雑草など、地域が不愉快な思いを持ち続けており、職員もどうしようもなく、ストレスを抱えているのではないか。最近、空き家条例を牛久市が制定し、つくば市は代執行、取り壊しなどを盛り込んで9月議会上程。この状況を踏まえて、市の取り組みを改めて伺う。

総務部長 ことしの5月に職員を研修に行かせて、勉強をさせた。その結果、安全安心の観点からまず条例をきちんと制度化し、それによって市民にPR、注意喚起を行い、自己の持ち物である土地・家屋については自分で管理するのが原則であると訴えていくのが解決に向けた第一歩であると結論付けた。条例を制定し、少しずつ改正しながらより実効性のあるものにしていくことを庁内で検討している。できるだけ早く制度化に向けて取り組みたい。

ウエルネスプラザ 整備計画

入江 洋一 議員

問 ウエルネスプラザ整備計画では敷地内に車22台分の駐車場が整備されることになっていくが、さらに多くの駐車場が必要という意見がある。(B街区の)狭いスペースに駐車場を造るのは莫大な費用がかかると思うが、想定は。

市長 国土交通省の健康・医療・福祉まちづくり研究会によると、今後のまちづくりのコンセプトに「歩きたくなるまちづくり」とある。プラザは健康のための拠点なので最低限の駐車場を整備し、歩く人できるだけ誘導したい。

問 それには歩きやすい歩道が必要。しっかりとした整備を求める。プラザのパブリックコメント募集期間中、プラザ建設について「賛成・反対」と書くことを誘導するようなチラシがポストに貼られていた。これについてどう考えるか。

政策推進部長 チラシを初めて見た。パブコメは賛成・反対ではなく建設的な意見をいかにいただくか。趣旨。建設的意見は採用していくが、妥当性がなく建設的でないものは排除せざるを得ない。市民にパブコメの趣旨を知っていただく手法を今後考えていく。

障害者保護者の 高齢化への対応を！

山野井 隆 議員

問 知的障害者を介護する親の高齢化が問題となっていて。国は地域の中で安心に暮らす役割を担うが、家族のニーズに追いついていない。市内のケアホーム2カ所は定員に達し、待機者が多い。市は、この状況をどう受け止め、福祉サービスを展開するのか。

健康福祉部長 ケアホームの必要性は、よく認識している。市内に設置を希望する事業者から話をいただいでおり、県との取り次ぎなど説明している。そういう



障害者ケアホーム (桜が丘)

事業者が設置、運営することが一番いいと考えている。

問 民間事業者が参加できる内容であれば、問題はクリアできると思うが。

障害福祉課長 ケアホームは宿泊事業のため、従事する方が少なく、運営しにくいと考えている。国に問い合わせたところ、従事する方について、今後見直しするとの回答があった。

問 障害者と保護者が安心して暮らせるシステムをつくらせていきたいと考えている。市も対応について、前向きに協力していただきたい。

市長 財源上、難しいところがあるが、最良の方法について、情報を拾い、知恵を絞っていきたい。

負担金の見直しを！ 北浦川緑地

市村 達明 議員

問 北浦川緑地について、県の施設維持管理の負担を市が行う理由は。



北浦川緑地 (中田)

建設部長 県が平成2年度から事業を行っている。平成13年に一部完成し、住民から開園の要望があり、それに応えるために当時の藤代町が県と管理協定を結び、管理費の2分の1を負担することになった。

問 県営公園22のうち、取手市と同様に維持管理費の半分を負担しているのは、北浦川緑地を含め6つ。他の公園同様に維持管理費の負担をやめるべきと考える。

答 都市公園法の管理者以外のもので管理をする条項を加味して、県と協議していきたい。

問 直轄事業負担金の維持管理費については、平成22年度から廃止されている。国営のひたち海浜公園については、県の負担金2億円がなくならない。市も同様に、県の負担金の支払を断ることは可能ではないか。

答 2分の1の負担がおかしいのではと受け止めるが、県とよく協議していきたい。

安心・安全の町づくり

関戸 勇 議員

問 市防災計画では、茨城南部を震源とする直下型地震の被害は午前5時で想定。最悪に備えることが大事だと考えるが、人が動き出す時間、家庭で火を使う時間での想定はしているのか。

総務部長 消防庁の簡易型想定システムによると、冬の想定出火件数は午前5時で12件、正午で1222件、午後5時で104件。

問 学校の耐震化計画について、廃校となる学校について耐震化工事の予定がない。学校は避難場所としても大変重要である。耐震化を急ぐべきと思うが。

教育部長 今まで19棟耐震化を進めたが、まだ37棟残っている。今までは耐震化工事と老朽化対策工事を併せて行ってきたが、耐震化を最優先に進めたい。今年度も5棟工事をしている。問 大きな災害が想定される中、小学校の統廃合はやめて、市民や児童の安全を守る必要があるのか。答 統廃合計画は、教育環境の充実を図ることを第一目的としている。クラス替えができる環境、子ども同士で切磋琢磨できる環境等をつくりたいと考える。

子どもたちを守れ！放射能対策

鈴木 潔 議員



除染工事（中学校）

問 子どもの被ばく健康調査については、国、県が消極的な中、牛久市が実行した。対象者8千人に呼び掛けたところ申込者はその83%だった。取手市がやらないのはどういう考えなのか。健康福祉部長 守谷、つくばみらい、常総と4市で、国費でやるよう国、県に要望している。

問 子どもたちは昨年3月に利根川から取水した水で大変な被害に遭っているかもしれない。放射線災害への認識と対応が大変甘い。市長の基本的な考えを問う。市長 我々が心しなくてはならないのは医学的、疫学的な見地からアプローチをすること。国の動きを注視したい。

問 市長が待ちの姿勢であることが残念でたまらない。市長は先日「産業に配慮しなければいけない」と原発容認と思われる答弁をした。聞き捨てならない。原

発ゼ口の声を上げる考えは。答 産業があるから雇用がある。エネルギーの転換をしていくのなら、そのコストを社会全体が負担する枠組みをつくらなければ基幹産業がなくなると言った。正しく理解してほしい。

どうなる？ 取手駅周辺

結城 繁 議員

問 ウエルネス・タウン取手のブランドイメージをどう位置付けるのか。6月議会以降、新たな動きは。市長（仮称）健康増進室的なものを25年度の組織改正の中でつくりたい。まずは庁議のメンバーで、勉強会を立ち上げるよう指示をしている。

問 医療モールの建築確認は下りたのか。都市整備部長 平成24年6月12日に下りた。

問 自転車駐車場を造るに当たり、今、借りている地主には話をしたのか。都市整備部長 個別に訪問して計画の話をしている。

問 東西自由通路の完成はいつごろと考えているか。

答 J Rとの協議の中では、28年には完成させたいと話をしていく。

問 歩行者デッキについて1800万円の用地取得は、どこの土地を何坪買うのか。答 治助坂の途中にデッキの昇降口を設け、その下り口にはポケットパーク的なものを考えている。130平米ぐらいを取得する。

問 バス停あたりに1本目の柱できるが、非常に狭く危険ではないか。答 柱を立てても残り4メートル以上確保できるので安全は確保できると思う。



取手駅西口バス停周辺

子どものために学校図書館の充実を！

池田 慈 議員

問 言葉は会話だけで足りず、それを補うのが本。中学校まで本と接する機会があるかで、人生の豊かさが変わるほど大切な教育と

言える。市では、4月から子ども読書活動推進計画を施行。学校図書館の電算化とネットワーク化の状況は。教育部長 計画は28年度までなので、期間内に実行できるよう努めたい。

問 学校図書館司書は、龍ヶ崎・牛久では小中学校各1名に対し、市は23年度で小学校各1名、中学校7校で2名の配置。各校1名の配置は、24年度から地方交付税措置となつていますが、予算化について市の考えは。答 図書館の蔵書が交付税算定基準にある。そこで図書

書の整備を行っている。問 市では配置が少ない上に、司書助手の扱いだが、有資格者または経験者採用をしており、業務内容も司書のものが多い。これでは

優秀で熱意のある人材が生まれられない。今後、司書配置に変える計画は。答 今は考えていない。

問 学校図書館司書同士の連携はどう行っているか。答 研修会等を開催。要望により、地域ごとに情報交換の場を開いた経過もある。

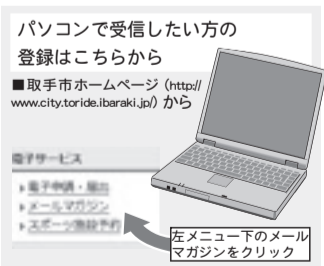


学校図書館

ここも見てって

議会事務局では、議会の日程や審議結果、一般質問通告内容などをお知らせする「ひびきメール」を配信しています。登録方法は次のとおりです。

- ・パソコンでの受信…取手市ホームページから
- ・携帯電話での受信…次のQRコードまたは取手市携帯 (<http://www.city.toride.ibaraki.jp/mob/>) サイトから



また、ツイッターによる本会議・委員会・全員協議会開催などの市議会の予定や、議会に関する情報など議会情報の提供を行っております。

URLは http://twitter.jp/toride_gikai になります。また、携帯電話は、QRコードによりアクセスすることができます。

安心できる通行を 白山交差点

川又 貞男 議員



工事中の白山交差点（10月）

問 白山通りから6号国道の交差点について、白山を住みよいまちにする会と市長との面談を実施した。その中で、通行者の安全を守るということ、歩道の拡幅と、歩道橋の階段の降り口を国道と平行して造るといふ2つの話をした。交差点の工事は進んでいるが、こちらのほうはどうなのか。

都市整備部長 工事に入る予定ではいるが、権利者との交渉が成立していない。

問 白山は年配の方が多くなっている。そういう方が歩くわけだが、このことに對してどういう考えを持っているか。

区画整理課長 新しい交差点の横断歩道を渡っていたが、現在の交差点から

約45メートル南に移動する。横断歩道を安全に渡ることをお願いしたい。

問 交差点ができて、交通事故に遭ってけがをしたということが絶対にないようをお願いする。

都市整備部長 交差点を改良する中で事故があつては非常に困る。県警・取手警察署と十分に打ち合わせをし、事故のない交差点にしていきたい。

やめるべき 保健センター統合

遠山 智恵子 議員

問 市民生活に身近な場所にある2カ所の保健センターの役割は大きい。ウエルネスプラザ計画による保健センター統合はやめ、施設の有効活用、少子高齢化社会に配慮した地域密着型の保健事業に取り組みべき。

健康福祉部長 保健師の最大の仕事は訪問。保健センターを一つに集約することにより効率化され、地域密着型の保健事業をさらに前進させる契機と考える。

問 保健センターをウエルネスプラザに集約する計画は、いつから始まったのか。

答 昨年10月から本年3月まで6回内部打ち合わせをやっている。

問 保健師を集約しても現施設の機能は維持すると

市民懇談会でも説明があつた。保健センターの機能とは、保健師や管理栄養士が配置されて初めて運営ができるものだと思うが。

市長 基本的にサービスを落とすことはない。複数の所に拠点を置いているだけでは人材の育成が難しい。健診や、曜日を決めた相談は藤代保健センターでできるようにする。



取手保健センター（左）と藤代保健センター（右）

市民の対話を！ 取手駅西口整備

飯島 悠介 議員

問 中心市街地が担う役割として、商業施設の周知・

にぎわいの呼び込みをどう考えるのか。

都市整備部次長 まちづくりは、公共、民間共同で行うもの。健康・医療・福祉・環境というウエルネス・タウン構想により、取手駅周辺地区をつくり、世間にPRする目標を共有することにより初めてできると思う。

問 ウエルネスプラザを検討する上で、公共施設マネジメントがどう関係するか。

市長 市全体を發展させるため、駅前を放置しておけない。駅前を特別に集中して考えてきたことが実態を反映していると思う。

問 ウエルネスプラザ整備計画は、市民の関心が非常に高く、180件ものパブリックコメントがあつた。この関心をそらさずにウエルネスプラザをつくることに必要。市民との信頼関係を築き、今後の事業を行う上で、対話を行う機会が必要と思うが、予定は。

都市整備部次長 意見を参考にしながら、管理運営、建築設計等を進めていく。パブリックコメントについて、改めて説明会をする予定はない。

問 説明会を開催すべきだと思ふが、どうか。

同 説明会の形でなくても、節目ごとに説明や意見交換を行う考えは持っている。

いじめに對する 市の対応は？

小嶋 吉浩 議員

問 いじめは、数十年前からなくそうということが叫ばれているが、一向になくなることはない。大津市の事件がクローズアップされているが、市ではどう総括しているか。

教育長 詳しい状況がわからないが、市としては、いじめの事実があつたら、気付いた日のうちに対応しようということを校長会にお願いしている。また、教育委員会も学校と指導・協力しながら対応しているが、その部分を強調してやっていきたい。この場合は、生徒が亡くなっているの、遺族の意向を確認し、丁寧に報告等しながら対応したいと考えている。

問 大津市の事件以降、市はいじめの対応を検討したと思ふが、新たな対応策は。

答 弁護士、カウンセラー、医師等が入る学校問題解決サポートチームがあるが、短時間で動けるチームづくりをし、何かあつたときにしっかり対応したい。また、低学年からの指導に加え、カウンセリング的なかかわりを大事にしていきたい。また、家庭ではしっかりと愛することを願いたい。

どうなる？ 取手駅自転車駐車場

吉田 宏 議員

問 自転車駐車場の整備計画について市の考えは。

都市整備部長 市営駐輪場が区画整理事業区域に3カ所ある。新しい駐輪場を計画しており、機械式と自走式で約860台を整備予定。

問 機械式の収容台数は456台。なぜメーカーを選定せずに台数が出せるのか。

答 設計会社が2社のメーカーとヒアリングした結果、希望台数をクリアした。

問 メーカーを決めずに建築確認申請できるのか。

都市整備部次長 建築基準法を満たす建築物である。

問 設計の26メートルの高さの実績は。

答 2社とも標準仕様を変えて製造できる。

問 実績のない会社に頼むより実績を持った会社に頼むことが多いのでは。

答 日本ではこの2社がほとんどを占めており、施設の整備は実績があると思う。

問 事業費の増加の理由は。

答 当初は機械式だけであつたが機械式と自走式を併用にした。また太陽光パネルや利用者のためにエレベーターを設置、歩行者デッキと接続する連絡通路の整備等による増加である。

使いやすい ウエルネスプラザに

石井 めぐみ 議員

問 ウエルネスプラザに整備する多目的ホールについて、先進地のホールでは親子室や車いす利用者の優先席を設置している。ぜひ整備をと願っているが、そのような考えはあるか。

答 都市整備部次長 ウエルネスプラザは、ウエルネス・タウン取手の創造を目的としたまちづくりの中核的な施設。いろいろな世代の方を集まり、交流を深めることを目的にしている。建築設計の中で検討したい。

問 ウエルネスプラザには、保健センターが設置される。乳幼児健診も実施されるため、歩道の段差解消やプラザ敷地及び建物のバリアフリー化を進めていただきたい。また、バリアフリー法や高齢者・障害者の自立した生活を確保する施策にも配慮し、駅前の活性化を図ることも大事だと思うが、どう考えているか。

答 都市整備部長 バリアフリー化の整備は当然。建物や敷地の段差解消や、エレベーター設置等は今回の整備で実施。それに伴い、授乳室や多目的トイレのプラザ内への設置を設計段階で検討していきたい。

有効な活用を！ 災害時要援護者台帳

渡部 日出雄 議員

| 受付日時 | 平成 | 年 | 月 | 日 | 時 |
|-------|----------|-------|--------|----|---|
| 受付別 | 来庁 | 電話 | その他() | | |
| 対象者氏名 | | 性別 | 男 | 女 | |
| 対象者住所 | | | | | |
| 連絡者氏名 | | | | | |
| 連絡者住所 | | | | | |
| 要援護者別 | 一人暮らし高齢者 | 高齢者世帯 | 要介護者 | | |
| | 障害者 | 外国人 | 乳幼児 | 妊婦 | |
| 対応課 | 高齢福祉課 | 障害福祉課 | 市民課 | | |
| | 保育課 | 学務課 | 保健センター | | |
| 備考 | | | | | |

受付カード

問 要援護者台帳に載っている方への援護体制は現時点ではできていないのか。

答 社会福祉課長 要援護者支援プランを整理しつつ、厳密に対処していこうというところ。現状では、そこまで達していない。

再検討を！ 学校統廃合

加増 充子 議員

問 小学校統廃合計画の地域では、心配の声や少人数学級でこそ行き届いた教育ができるなどの声寄せられている。今こそ統廃合を再検討すべきと考えるが。

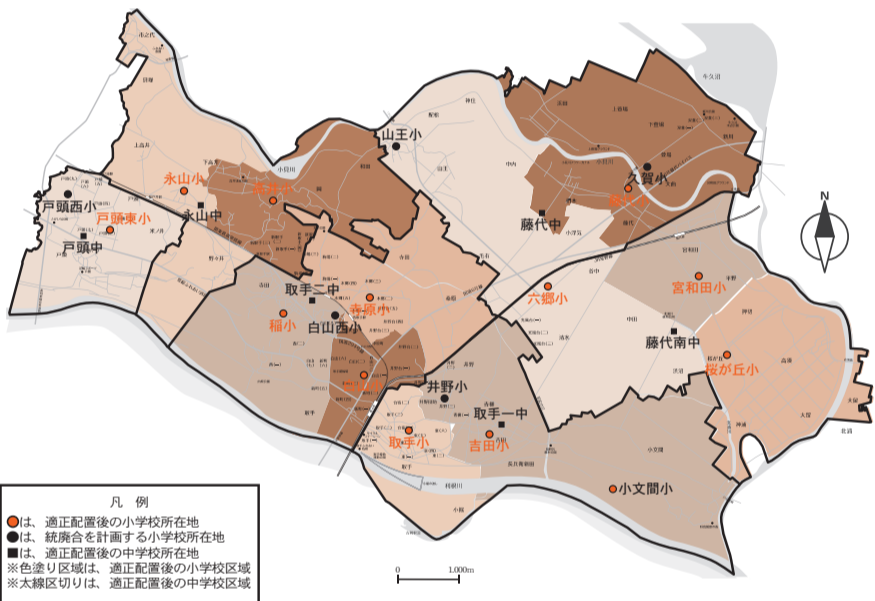
答 教育部長 少子化の傾向が今後も続く中、適正規模適正配置審議会を設置し、適正配置基本計画を策定した。この計画で小学校統廃合を進めていく。

問 今、全国的に小規模学校、小規模クラスが進んでいる。文科省も昨年から35人学級になってきたが。

答 学校は、集団生活や集団活動を体験し社会性を身に付ける場でもある。適正規模化により、少人数では体験できないことを体験させてあげたい。

問 統廃合は自治体の大リストラと指摘されるほど。適正規模の基準は。

小中学校適正配置（計画）後の通学区域図



問 パブリックコメントの意見の中にもあった説明会の開催について伺う。

答 都市整備部長 説明会等は今までも実施してきた。これから説明会を実施する考えは今のところない。

問 国道6号線の交差点工事はいつごろ終わるのか。

答 10月下旬から11月早々に完成の予定。

問 土地売買契約書にある、医療モールの指定用途に供すべき期間である7年が経過した後、用途変更もあり得るのか。

答 都市整備部長 事業提案の審査の中で、この方であれば7年経過後も転売して用途変更はしないというところも審査の中に含めた。

問 ウエルネスプラザの年次計画について。

答 審議会の中で適正規模の数、方針を出した。

問 学校施設の耐震化の促進については、学校統廃合優先ではなく、今ある学校の耐震化を進めてほしい。

答 IS値の小さい建物からやっていく。また、統廃合後も活用する学校については優先して進める。

来年4月で耐震化率71.7%になる。

ウエルネス・タウン構想

佐藤 清 議員

問 歩行者デッキの管理は。条例で管理する道路なので、市が管理をしていく。

答 建築物の一部を一般公共歩廊公共空間として提供していたのが公募の条件。幅員は4メートルで市が管理をしていく。



ウエルネスプラザ建設予定地

次の定例会は、
11月28日（水曜日）
開会の予定です。

平成24年第3回定例会の議決結果

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「不」は離席など採決時不在、「除」は除斥による退席を表します。

議長（倉持光男議員）は、可否同数のとき又は特別多数議決のとき以外は表決に加わりません。

| 種別 | 件名 | 議決結果 | 会派名、議員名及び賛否の別 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|---------------|----|-------|---|---|---|---|------|---|---|---|---|-----|---|---|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 賛否数 | | 創世クラブ | | | | | はやぶさ | | | | | 公明党 | | | 日本共産党 | | | 民 | 志 | 彰 | と | み | | | | | | |
| | | | 賛 | 反 | 石 | 川 | 山 | 小 | 吉 | 入 | 佐 | 倉 | 渡 | 金 | 中 | 佐 | 赤 | 落 | 染 | 阿 | 齋 | 関 | 鈴 | 遠 | 加 | 平 | 結 | 飯 | 池 | 市 | |
| 市長提出 | 取手駅西口都市整備事業特別会計補正 | 原案可決 | 16 | 9 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 平成23年度一般会計決算認定 | 認定 | 18 | 7 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 平成23年度取手駅西口都市整備事業特別会計決算認定 | 認定 | 16 | 9 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 平成23年度用地先行取得事業特別会計決算認定 | 認定 | 19 | 6 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 平成23年度国民健康保険事業特別会計決算認定 | 認定 | 21 | 4 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 平成23年度後期高齢者医療特別会計決算認定 | 認定 | 21 | 4 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 平成23年度介護保険特別会計決算認定 | 認定 | 21 | 4 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 平成23年度介護サービス特別会計決算認定 | 認定 | 21 | 4 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 平成23年度競輪事業特別会計決算認定 | 認定 | 21 | 4 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議員提出 | 国民健康保険税条例の一部改正 | 否決 | 9 | 16 | × | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 政治倫理条例の一部改正 | 否決 | 4 | 21 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 消費税増税の実施中止を求める意見書 | 原案可決 | 15 | 10 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 冷静な外交努力で尖閣諸島・竹島問題の解決をはかることを求める意見書 | 原案可決 | 24 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 国民の理解を得られるような電源開発促進税の見直しを求める意見書 | 原案可決 | 24 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 県立高校の存続と高校の30人以下学級実現を求める意見書 | 原案可決 | 18 | 7 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 教育予算の拡充を求める意見書 | 原案可決 | 24 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 取手駅北土地利用構想に関する調査研究特別委員会設置 | 原案可決 | 24 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 請願・陳情 | 県立高校の存続と高校の30人以下学級実現を求める意見書提出に関する請願 | 採択 | 17 | 8 | × | ○ | ○ | × | ○ | × | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 教育予算の拡充を求める請願 | | 採択 | 24 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 障害者の為のケアホーム設置に関する陳情 | | 採択 | 24 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 外来水生生物に関する陳情 | | 趣旨採択 | 20 | 5 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 市民の放射能被ばくに対する措置を求める陳情 | | 採択 | 13 | 12 | ○ | ○ | × | × | × | × | × | ○ | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 議会の議決について検証を求める陳情 | | 不採択 | 0 | 25 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| 自転車通学損害賠償保険に関する陳情 | | 採択 | 13 | 12 | × | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 住民投票条例制定についての陳情 | | 不採択 | 7 | 18 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 農産物・特産品直売所の場所選定についての陳情 | 趣旨採択 | 21 | 4 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

会派名：彰考会=彰考会@取手、とりで生活=とりで生活者ネットワーク

以下の議案・請願等は、全員賛成で原案可決、承認、認定、採択と決しました。

○市長提出議案

（原案可決）介護保険条例改正、茨城県後期高齢者医療広域連合規約の変更、高規格救急自動車購入契約の締結、市道路線の認定・変更・廃止、一般会計補正、国民健康保険特別会計補正、後期高齢者医療特別会計補正、介護保険特別会計補正

（承認）一般会計補正の専決処分

（認定）平成23年度取手地方公平委員会特別会計決算

○議員提出議案

（原案可決）気象事業の整備拡充を求める意見書、自治体における防災・減災のための事業に対する国の財政支援を求める意見書、中小企業の成長支援策の拡充を求める意見書、「脱法ドラッグ」とりわけ「脱法ハーブ」に対する早急な規制強化等を求める意見書、北朝鮮による日本人拉致早期解決を求める意見書

○請願

（採択）市立小中学校に学校図書館司書を配置することを要望する請願